

学校教育目標	ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する 鴨志田緑の子 ~ ふれあい かがやき 豊かな心 ~ ○ 基礎的・基本的な学力を身につけ、共に学び合う力を育てます。(知) ○ 自分や人のよさを認めて共に成長する、豊かな心を育てます。(徳) ○ 健やかな心と体を鍛え、たくましく生きる力を育てます。(体) ○ 「ふるさと」を愛し、人・自然・まちと協働する力を育てます。(公) ○ 様々な人とのコミュニケーションを通し、共生する力を育てます。(開)			
	創立 40 周年 児童生徒数: 368 人	学校長 杉山 波也 主な関係校: 鴨志田中学校	副校長 土井 茂	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<伝え合いながら、問題解決する力> <自他の良さを認め合い心豊かに生きる力> <人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ力>	鴨志田中学校 鴨志田第一小学校 鴨志田緑小学校	・「あったかさ」に表される豊かな気持ち、地域を思いやる気持ちをもつ子 ・互いを認め合い、伝え合い、学び合う子 ・主体的に学習に取り組む子 ・運動に楽しく取り組み、健やかな体を育もうとする子 ・リーダーシップを発揮し貢献する子 ・小中合同授業交換会で「人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ」を意識した授業を展開する ・小中合同人権研修で教職員の人権感覚を磨く ・ふれあいコンサートで演奏や歌を発表したり、他校や地域の方の発表を聴いたりし、互いを認め合ったり、学び合ったりする子を育む ・児童生徒交流日で小学校6年生が中学校の授業や部活動の見学や体験をし、中学校への円滑な接続を図る

中期取組目標	○ 豊かなふれあいを大切にしながら、だれもが安心して笑顔で過ごせる学校をめざします。 ・一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して学び合う楽しさを実感し、自尊感情を高めることができる授業づくりを推進します。 ・人とかかわり合いの中で、互いを認め、思いを伝え合うことのできる豊かなコミュニケーション能力の育成を図ります。 ・地域とのつながりを活かした教育活動を進める中で、ふるさとを大切に思う心を育てます。 ・児童が安心して学校生活を送れるよう、丁寧な児童理解に努め、組織的に児童支援・児童指導を行います。 ・教職員の人材育成を通して、「チーム鴨志田緑」の組織力向上を図り、連携・協働しながら、学校教育目標の実現へ向け取り組みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 重点研推進委員会	①研究主題を「ともに関わり学び合いながら、自分を高める子の育成」とし、様々な教科・領域において、切実感をもち、友だちと話し合いながら、問題解決していく授業を目指し、資質・能力の育成に取り組む。②タブレット端末を活用し、見方・考え方を広げたりコミュニケーション力を伸ばしたりする。
徳 豊かな心 担当 道徳推進教諭	①「特別の教科 道徳」を豊かな心の育成の中核ととらえ、価値把握の理解や振り返りの充実を図り、学習中に考えたことを自分事として、日常的な実践につなげられるようにする。②KFT(縦割り活動)をはじめ、各学年の実態に応じた人権福祉教育を行い、子どもの自尊感情や自他を大切にすることを育む。
体 健やかな体 担当 体育部	①体力アップ(持久走)を計画的に進め、主体的に運動に取り組み、体力の向上と運動に慣れ親しむ資質・能力を育む。②学校保健委員会や集会を通して、心の健康の重要性を学び、自他を大切にすることを育む。③保健、体育の授業の充実と食育の推進を図る。
公開 異学年交流 担当 児童支援専任	①子どもたちが主体的にリーダー会議を運営し、リーダーとしての役割や責任を自覚して活動できるようにしていく。②めあてを意識して活動に参加することで、達成感や満足感をもてるようにする。③ペア学年による交流を積極的に実施し、学校全体での温かい人間関係の構築を推進する。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①校内支援体制に基づき、支援や配慮を要する児童へのニーズに応じた指導・支援を保護者との連携のもと進める。②個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用し、一貫した指導・支援を行う。③特別支援教育や合理的配慮等に関する研修を行い、特別支援教育の理解を深め、充実を図る。
地域連携 学校運営協議会 担当 地域連携担当	①本校の特色である「地域とのつながり」を大切にして各ボランティアと連携を図り、子どもたちの学習活動をさらに豊かにしていく。②40周年にかかわる様々な行事に向け、学校運営協議会とともに、学校・家庭・地域が一体となった学校運営を目指す。
安全管理 担当 防災安全部	①防災訓練のより具体的な年間計画を立て、起こり得る様々な場面を想定した訓練を行う。訓練ごとにスタンダードの内容を確認し、基本的な身の守り方・避難の仕方を確実に身に付けさせる。②校内の安全点検を定期的に行ったり物品の管理の仕方に気を配ったりし、安全な環境を整える。
いじめへの対応 担当 児童指導部	①早い時期にいじめに関する研修を行い学校全体で未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいく。②YP-アセスメントシートと指導プログラムを併せて活用し、子どもの社会的スキルの育成を図る。③記名式いじめアンケートを学校全体で共有し学校全体での見守り体制を充実させる。
児童指導 担当 児童指導部	①高学年の教科担任制、低学年の授業・活動交換等を推進し多角的な児童理解に努める。②児童指導に関する校内研修を行い児童理解へのスキルを高められるようにする。③週に一回、児童指導について全体共有の場を設け、学校全体での見守り体制を充実させる。
人材育成 組織運営(働き方改革) 担当 教務部	①職員のニーズに合わせた内容で、充実した研修を行う。さまざまな経験年数の職員が疑問や考えを出し合い共有できる研修会にし、教師力向上を目指す。②学校評価を活かし、教科担任制やミライム活用、環境改善プロジェクト(KKP)をさらに進め、業務の明瞭化・効率化を図る。